



〔質疑〕企業立地推進事業の奨励金はこういった算定基準をもとに出された数字なのか伺いたい。

〔答弁〕昨年度交付された市内2社の工場増築分に係る企業立地奨励金については、投下固定資産に対して課された固定資産税及び都市計画税相当額を3年度間に限り交付するという企業立地促進条例に基づくもので、一度、固定資産税を納付いただき、増築分に係る分については翌年度に奨励金として交付するものである。

また、転入者支援補助金については、白石市企業立地等に伴う転入者支援補助金交付要綱に基づき、1名につき月額1万円を上限として、3年間家賃補助を行うことにより定住を促進しようとする制度である。

〔質疑〕焼却灰の仮置き場について、現在までの進捗状況はどうなっているのか。

〔答弁〕今年の3月頃に自治会長に協力をいただき、市内でまき風呂などを利用して焼却灰を排出する世帯を調査したところ、1千件を超える世帯が利用されていた。

今、市の方針としては、地区ごとに仮置き場を設置し、国が3年以内に宮城県内に設置を目指している最終処分場において処分をするという大きな流れになる。

ただ、焼却灰の仮置き場の設置について、何力所か地元の自治会長を中心に話し合いを行っているが、残念ながら、地元の住民の皆さん方から理解を得られず、焼却灰の仮置き場については、まだ1カ所も決まっていないという状況である。

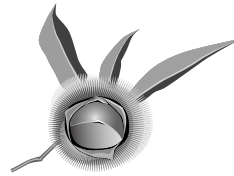
白石市としては、1千世帯を超える市民が焼却灰を毎日排出されていると認識し、焼却灰の保管袋を対象者に配付して対応しているところである。



特別委員会現地視察（白石城）

〔質疑〕白石駅前駐車場の利用料金は、白石市商店街活性化対策事業と何か関連しているのか。

〔答弁〕白石駅前駐車場利用料金から、駐車場の維持管理费用を控除した額を商工会議所のほうに交付をして、商店街の活性化のために使わせていただいている。



〔質疑〕来年から、ふれあいプラザの図書コーナーにひこせん事務所が入ることにすると説明があったが、今後図書コーナーはどこに設置するのか。

〔答弁〕図書コーナーとしては、2階にも面積のあるフリースペースがあるので、市民の方が気軽にまた来ていただけるようなスペースとして活用したいと考えている。

〔質疑〕短期被保険者証資格証交付が前年より大きく減っているが、短期証発行数と有効期間の内訳はどうなっているのか。

〔答弁〕平成23年度については震災に伴い、柔軟かつ弾力的な運用をさせていただき、新規分は発行していないため、少なくなっている。

また、短期証については、これまでは2カ月、4カ月、6カ月証という期間で交付していたが、県の指導等もあり、平成23年度からは6カ月証1本にさせていただいている。

〔質疑〕在宅老人等紙おむつ給付事業は、課税世帯に2千円、非課税世帯に4千円補助するものであるが、この基準はどのように設定されているのか。

〔答弁〕紙おむつ給付事業については、平成4年度から実施しており、65歳以上の寝たきり老人、認知症及び身体障がい者等の方々に、2千円と4千円を限度とした形で毎月支給している。

〔質疑〕農業集落排水事業の水洗化率を高めるために、どのような取り組みをしてきたのか。

〔答弁〕越河地区が7月末で46%という水洗化率になっている。平成23年度については「越河農集排だより」を数回発行して、全戸に配布して普及を呼びかけている。

それから、利用組合を組織していただき、役員の方々と連携を図って、昨年は役員会を2回ほど開催し、その中で普及促進のお願いをしている。